

業 務 説 明 資 料

本説明書に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、将来の業務実施の条件となるものではありません。

1 件 名

国際園芸博覧会基本計画（市案）等調査検討業務委託

2 履行期限

令和3年3月26日（金）

3 履行場所

旧上瀬谷通信施設及び周辺地域

4 業務の概要

（1）業務の背景・目的

横浜市では、平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会（以下「博覧会」という。）の開催に向けた取組を進めています。

博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催されています。

これまで、平成30年3月に本市としての基本構想案を策定し、令和元年9月には、国際園芸家協会（AIPH）に開催申請を行い、承認を得ました。また、令和元年8月から12月まで、国においても国際園芸博覧会検討会が開催されました。

今後、開催実現に向け国などの関係組織と連携を図りながら、博覧会の具体的な計画を市として提案していく必要があります。

本業務は、旧上瀬谷通信施設において博覧会を開催するにあたり、平成30年3月に策定した基本構想案、令和元年度に検討を進めた会場構想及び事業展開や国で検討された報告書等を踏まえ、国際園芸博覧会基本計画(市案)等について調査及び検討を行うことを目的とします。

○参考：国際園芸博覧会の招致（横浜市 HP）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shochi/top.html>

○参考：旧上瀬谷通信施設の土地利用（横浜市 HP）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/kichi/beigun/atochi-kamiseya.html>

○参考：国際園芸博覧会検討会（農林水産省・国土交通省共管）

http://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000089.html

（2）留意事項

旧上瀬谷通信施設に関しては、政策局、環境創造局、都市整備局、道路局、旭区、瀬谷区等において、土地利用の具体化に向けた検討を並行して進めており、業務の実施にあ

たっては、密接に連携して取り組む必要があります。また、国等の関係者との調整を行いながら作業を進める必要があります。

5 業務内容

以下の項目について、「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想案」（平成30年3月）、「2027年国際園芸博覧会日本国横浜市申請書」（令和元年7月）、国における国際園芸博覧会検討会の報告書及び市における令和元年度までの検討状況等を踏まえ、検討を行います。

(1) 国際園芸博覧会事業計画基礎検討業務

以下の内容について調査及び検討を行います。

- ・博覧会終了するまでの市及び博覧会開催主体としての事業検討項目の整理
- ・事業検討スケジュールの作成
- ・直近(令和3～5年)の事業費試算
- ・博覧会の実施及び会場整備を行う上で必要な法、条例等に基づく必要な許可、届出等の整理
- ・これまでに開催された国際博覧会の組織（博覧会協会）及び運営を踏まえ、2027年に横浜で開催される博覧会の組織及び運営のあり方を国際博覧会の潮流や社会経済情勢を踏まえて検討

(2) 国際園芸博覧会基本計画（市案）作成業務

以下の内容を国などの関係者と調整しながら検討を行います。なお、下記項目ア～シ、タ、チ、ツ、ネの検討にあたっては、本委託内に有識者を交えた検討体制を構築し、市職員のほか必要に応じ関係者が参加しながら進めるものとし、有識者の選定や検討体制の運営に係る費用及び有識者への謝礼等は、本委託業務に含むものとし、

【事業関連】

ア 事業コンセプトの検討

令和元年度に市が検討した事業コンセプトを基に、事業コンセプトを検討します。

イ 事業コンテンツ検討

事業コンセプトの検討を踏まえ、具体的な事業コンテンツを検討します。各事業コンテンツについては、実現可能性を裏付けるため、国内外での取組事例を収集します。

ウ 展示出展方針の検討

メインテーマや事業コンセプト等を踏まえ各国出展、企業出展、市民出展、横浜市出展、各種コンテスト等の方針を作成します。方針を踏まえ具体的な展示出展例及び展示に必要な施設の規模を検討します。また、出展形態及び参加費用モデル、途上国支援プログラム等の検討を行います。

エ 行催事方針の検討

各国スペシャルデイ、集客イベント、会議誘致等の行催事について、過去の国内外の国際博覧会等を参考に目玉となるイベントの具体案を含め方針の検討を行います。

また、行催事開催に必要な施設規模の検討を行います。

オ 会場周辺との連携方針の検討

博覧会事業として、博覧会会場だけでなく周辺地域、イベント等との連携についての方針を策定し、具体的な連携方策を検討します。

カ 博覧会レガシーの検討

博覧会のレガシーを旧上瀬谷通信施設の将来まちづくりなどにどのように継承していくのか検討します。

キ SDG s 貢献方針の検討

SDG s の達成の視点から、博覧会での SDGs 取組方針を検討します。また、市の SDG s 関連事業との連携方策の検討も行います。

ク 水・エネルギー利用方針の検討

再生可能エネルギー、ゼロエミッション、ゼロカーボン、VPP、雨水利用等、博覧会における環境に配慮した水・エネルギー利用方針を検討するとともに、具体的な対応策及びそのために必要な施設及び費用を検討します。

ケ 廃棄物削減方針の検討

過去の博覧会等を参考に、排出される廃棄物の量を試算し、そのうえで、廃棄物ゼロ、食ロスゼロ、プラスチックゼロ等に向けた博覧会における廃棄物削減方針を検討するとともに、具体的な対応策及びそのために必要な施設及び費用を検討します。

コ IT・ICT 技術導入方針の検討

博覧会会場内の IT・ICT 導入(広報・チケット・セキュリティ・誘導案内、来場者管理等)についての方針を、現在導入可能な技術を中心に検討するとともに、具体的な対応策及びそのために必要な施設及び費用を検討します。

サ コミュニケーション戦略の検討

博覧会の広報 PR・機運醸成、市民協働等を推進するためのコミュニケーション戦略について、平成 30 年度に策定した広報戦略を踏まえ、博覧会開催までの準備期間や開催後も含めターゲット毎に検討します。なお、本市が別途発注する広報 PR 等委託の受託業者と協力して検討を行います。

シ 輸送アクセス方針の検討

来場者の輸送アクセスについて、環境に配慮するとともに、来場者の円滑な輸送を目指すため、自家用車やバス等の利用方針を検討します。自転車や徒歩等による来場のあり方についても検討します。

また、交通に関する新技術(自動運転、空飛ぶ車、MaaS 等)に関する情報収集を行い、博覧会における展開方法を検討及び課題を整理します。

ス 来場者数の検討

別途委託で行った来場者予測をもとに、来場者の平準化方策を夜間開園や会場内宿泊も考慮し検討します。

セ 運営収支計画の検討

博覧会運営費の収支計画について検討します。(入場料収入の検討含む)

ソ 来場者及び参加者のための宿泊計画の検討

来場者及び参加者の宿泊について、既存の宿泊施設の情報収集及び宿泊計画の検討を行います。

【会場関連】

タ 博覧会会場構想の深度化

令和元年度に市が作成した博覧会会場構想をもとに、以下の内容について検討します。なお、会場計画の基となる将来公園計画においては、別途環境創造局で行うため、環境創造局が発注する公園計画に関する委託業者と連携して検討します。

- ・会場構成
- ・動線計画(資材等搬入含む)
- ・施設規模及び配置計画
- ・景観計画
- ・レガシー計画(会場施設の閉会後の利用について検討)

チ グリーンインフラ計画の検討

令和元年度の検討等を踏まえ、旧上瀬谷通信施設の将来まちづくりにおけるグリーンインフラの展開を見据えた博覧会におけるグリーンインフラの導入について検討します。

ツ ユニバーサルデザイン計画(バリアフリー含む)の検討

会場内のユニバーサルデザインの導入について検討します。

テ 暑さ対策の検討

夏季の暑さ対策の検討を行います。

ト ホスピタリティ計画の検討

来場者満足のための仕組み等について検討します。(雨天時対応等も含む)

ナ 防災対応方針、安全対策の検討

地震風水害等への対応方針及び避難、備蓄計画を検討します。

ニ 消防、応急救護方針の検討

消防、応急救護の対応方針を検討します。

ヌ 駐車場基本計画の検討

パークアンドライドを含む駐車場の基本計画(配置、規模等)を検討します。

ネ 建築物及び大規模工作物のデザイン方針の検討

会場全体の景観計画と調和する会場内の建築物及び大規模工作物のデザイン方針を検討します。

ノ 会場内インフラ基本計画の検討

会場内のインフラについて、上記各検討(主にク、ケ、コ)内容に基づき基本計画を検討します。

ハ 会場整備に関わる概算事業費の算定

会場整備に関わる概算事業費を算出(解体費用含む)します。概算事業費の算出に当たっては、将来まちづくりによる基盤整備や将来公園の施設整備等の調整を図ります。

ヒ 会場整備に関する与条件の整理及び施工スケジュールの検討

会場整備に関する与条件を整理し、施工方法等の検討も踏まえ施工スケジュールを検討します。なお、会場整備に先行する区画整理事業や公園事業等との整合を図りながら検討を進めます。

フ パース・鳥瞰図等作成(CG)

イメージパース等の作成を行います。(15枚程度 A3サイズ CG作成)

(3) AIPH、BIE 関連業務

ア 博覧会開催申請に係る資料作成調査業務

BIE への申請書記載項目について実行課題・概算事業費・概算収入等の整理を行い、国に提出が必要となる開催申請に係る資料の作成補助を行います。作成にあたっては、他の開催国の事例及び横浜市から提供する資料等を参考にすることとし、英語の翻訳・ネイティブチェックを含むものとします。

イ AIPH・BIE 対応関連業務

AIPH・BIE 会議での報告資料の作成補助を行います。AIPH・BIE 会議はそれぞれ最大で年2回を想定しています。AIPH と BIE への報告内容は、基本的には同じ内容を報告するため、報告資料はパワーポイント約30～40枚程度を2回作成します。また、報告資料には映像(CG使用、3分程度)も使用することとし、映像の作成も本業務に含まれます。パワーポイントは日本語版と英語版の2種類作成することとし、英語の翻訳・ネイティブチェックを含むものとします。なお、会議への同行は含みません。

○参考：オランダアルメールプレゼンテーション映像(冒頭アニメーションを除く)

<https://www.youtube.com/watch?v=BdfkxeS0te0>

(4) 関係者調整支援業務

上記(1)～(3)の検討を進める中で、国等の関係者調整における資料作成等の支援を行います。

(5) 報告書とりまとめ

本委託における検討結果について、報告書にとりまとめます。報告書のまとめ方については、発注者の指示に従うこととします。

6 成果品

(1) 報告書：A4判・ドッジファイル製本5部

(2) 国際園芸博覧会基本計画(市案)：A4判・レザック製本6部

(3) 報告書及び調査で作成した資料の電子データ(CD-R格納)

(Microsoft Office により編集可能なデータも併せて格納すること。)

(4) その他、調査・検討過程の資料で委託者が必要と認めるもの

7 参考（既往調査等）

- ・旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会を見据えた公園基本計画検討業務委託（令和元年度 環境創造局発注）
- ・国際園芸博覧会輸送アクセス検討業務委託（令和元年度）
- ・平成 31 年度 国際園芸博覧会の招致・広報・機運醸成等業務委託
- ・平成 30 年度 旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致推進調査業務委託

8 その他

- （1）本市における施策の転換等やむを得ない事由により予定業務の発注が行われない場合は、業務を受注できない場合があります。
- （2）業務の実施に関しては、プロポーザルの内容に係わらず、委託者と協議の上、検討を行うこととします。
- （3）成果品については、横浜市に帰属するものとします。